

研究課題名	モンゴルに蔓延する D 型肝炎ウイルス感染の制圧に向けた研究開発		貢献する主な SDGs	  
研究代表者 (所属機関・役職)	駒 貴明 (徳島大学 大学院医歯薬学研究部 准教授)		研究期間	5 年間
相手国	モンゴル国	主要相手国 研究機関	モンゴル国立医科大学 日本モンゴル教育病院 モンゴル国立感染症センター モンゴル国立病理センター	
研究課題の概要				
B 型肝炎ウイルス (HBV) と D 型肝炎ウイルス (HDV) の重複感染は、肝細胞がん (HCC) の発症リスクを大幅に高める。モンゴルでは HBV/HDV 重複感染率が 60%以上と世界で最も高く、HCC による死亡率も世界一である。しかし、HDV 検査薬が高価なため検査体制が整わず、感染症専門人材も不足している。これらの課題解決の要望を受け、本課題では安価で簡便な診断法を開発・定着させ、疫学調査で感染実態を解明し、二次感染予防を図る。また治療法開発にも繋がる HDV の発がん機序解析を共同で進め、高度な科学技術を備えた人材を育成する。これにより、持続可能な検査体制構築と専門家育成を通じ、HDV 対策の基盤を形成する。				